

# 2021年3月期 第3四半期決算説明資料

---

株式会社IMAGICA GROUP

証券コード：6879

2021年2月4日



# 第3四半期（累計） 決算ハイライト

## 売上高87億減収、営業損失23億を計上

(単位：百万円)

売上高

**58,670**

前年増減額  
△8,735

EBITDA

**8**

前年増減額  
△2,839

営業利益/損失

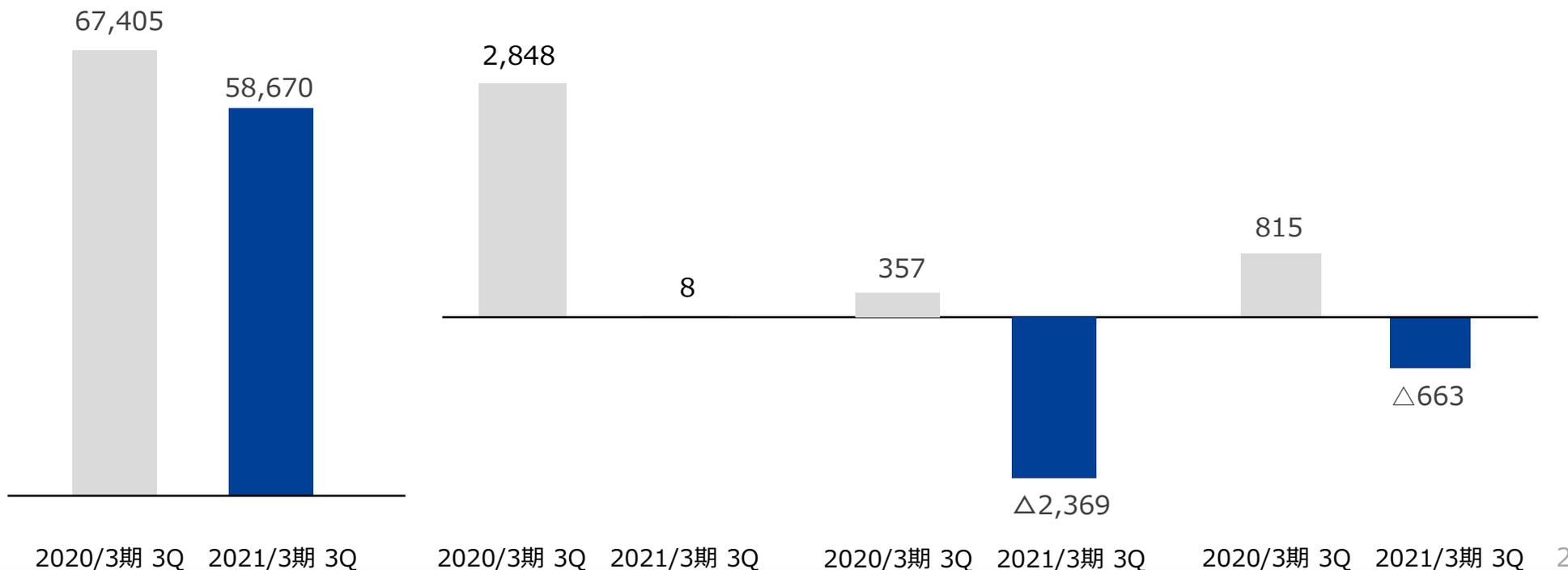
△**2,369**

前年増減額  
△2,727

親会社株主に帰属  
する当期純利益/損失

△**663**

前年増減額  
△1,478



※EBITDA = 営業利益 + 減価償却 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

## 第3四半期は第2四半期と比べ売上、利益が改善

(単位：百万円)	第1四半期	第2四半期	第3四半期（3ヶ月）		第3四半期累計
	実績	実績	実績	前四半期増減率 前四半期増減額	実績
売上高	16,855	18,980	22,835	20.3%	58,670
営業利益/損失	△1,868	△760	259	1,019	△2,369
経常利益/損失	△1,942	△986	199	1,185	△2,729
親会社株主に帰属する当期純利益/損失	△1,213	△739	1,289	2,028	△663
EBITDA（参考）	△1,063	37	1,034	997	8

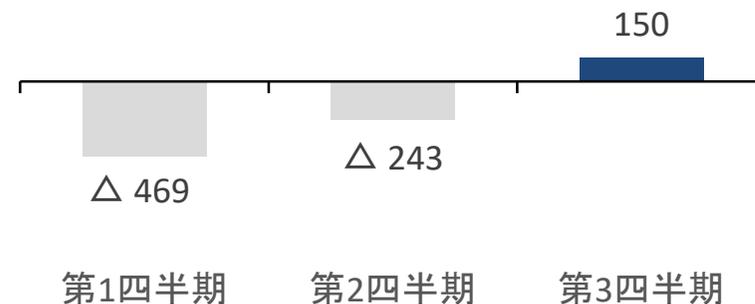
## 第1四半期をボトムとし、第2四半期より段階的に売上、営業利益が改善

(単位：百万円)

売上高



営業利益

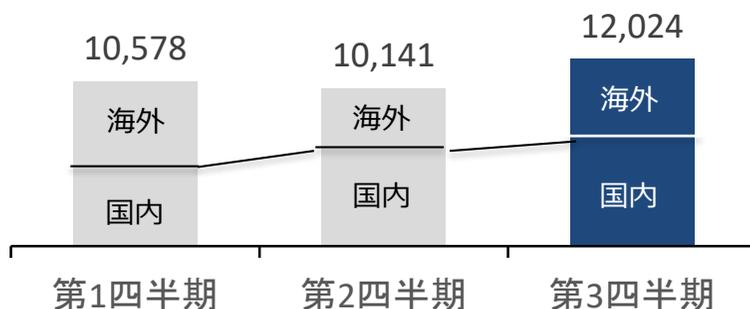


- ✓ 劇場映画作品は公開延期となっていた実写、アニメ案件が公開
- ✓ OTTにてドラマ配信を開始 (ROBOT企画・制作「Netflixオリジナルシリーズ 今際の国のアリス」)
- ✓ 音楽ライブ収録等のイベントは無観客ライブ配信としての受注が増加
- ✓ TVCMなどの広告制作は新作受注件数が回復せず
- ✓ TVアニメシリーズは制作本数減少や納品・放送スケジュール変更等が継続発生

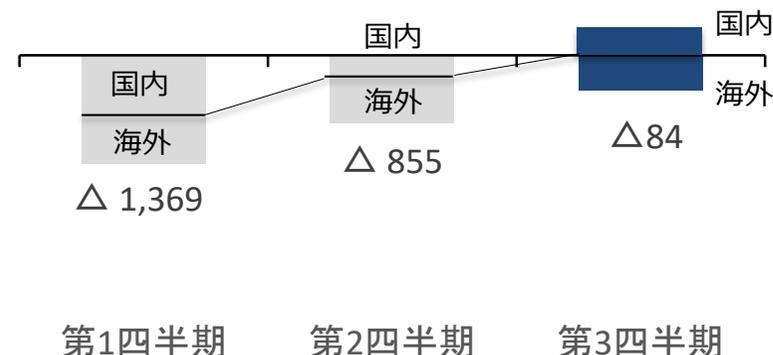
## 国内は受注が回復傾向、第3四半期は黒字化

(単位：百万円)

### 売上高



### 営業利益



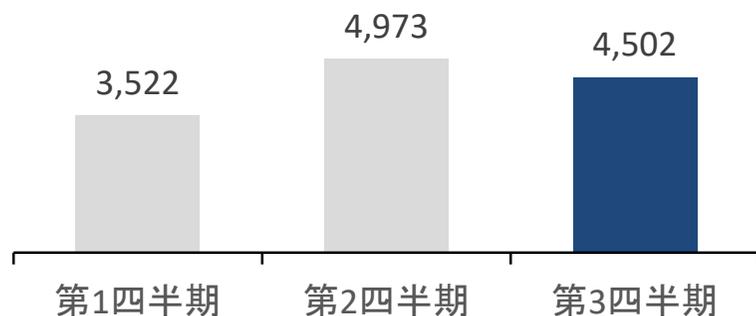
- ✓ 国内の映像技術サービス：TV番組向けポストプロは継続して受注確保、TVC M向け及びアニメのポストプロやOTT案件のエンコード等の受注も増加傾向
- ✓ 撮影・配信、アーカイブサービス：スポーツ再開や音楽ライブのオンライン配信化により受注増加
- ✓ 海外の映像技術サービス（ローカライズ）は、ダビングスタジオが再開するも、米州各国にて厳しい状況が継続し、受注減少
- ✓ 人材サービス分野は、人材派遣・紹介事業で苦戦するも、デバッグ事業の新規案件が増加、ゲームの3DCG制作の受注も堅調に推移

## CMオンライン送稿の拡大継続、アジア地域での販売も堅調

(単位：百万円)

売上高

営業利益



- ✓ CMオンライン送稿がマーケットニーズの拡大により送稿数が伸長し増収確保
- ✓ 放送局向け案件は一部案件減や縮小、延期が発生
- ✓ ハイスピードカメラは国内や欧米で苦戦が続くも、アジア地域では回復基調
- ✓ 台湾・中国向け映像・画像処理LSIの販売は継続して堅調に推移

## 映像システム事業は第1四半期より継続して黒字を確保

(単位：百万円)		2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期		
		実績	実績	前年比増減	前年比増減率
映像コンテンツ事業	売上高	20,038	13,888	△ 6,149	△30.7%
	営業損失	△ 203	△ 562	△ 359	—
	(営業利益率)	—	—		
映像制作サービス事業	売上高	35,663	32,743	△ 2,919	△8.2%
	営業損失	△ 550	△ 2,308	△ 1,757	—
	(営業利益率)	—	—		
映像システム事業	売上高	12,784	12,997	212	1.7%
	営業利益	1,478	842	△ 636	△43.0%
	(営業利益率)	11.6%	6.5%		
その他	売上高	△ 1,080	△ 959	120	—
	営業損失	△ 367	△ 340	26	—
連結合計	売上高	67,405	58,670	△ 8,735	△13.0%
	営業利益/損失	357	△ 2,369	△ 2,727	—

# 2021年3月期 連結業績予想

## 通期予想の変更なし

(単位：百万円)	2020年3月期	2021年3月期				
	実績	第3四半期 累計実績	前年 増減額	通期予想	前年増減額 (通期)	前年増減率 (通期)
売上高	<b>94,090</b>	58,670	△8,735	<b>84,000</b>	△10,090	△10.7%
営業利益	<b>1,351</b>	△2,369	△2,727	<b>△2,200</b>	△3,551	—
(営業利益率)	(1.0%)	(-)	-	<b>(-)</b>	-	
経常利益	<b>416</b>	△2,729	△2,418	<b>△2,650</b>	△3,066	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失	664	△663	△1,478	<b>△1,150</b>	△1,814	—
1株当たり当期純利益又は純損失(円)	<b>15.05</b>	△14.96	△33.45	<b>△25.91</b>	△40.96	—
EBITDA (参考)	<b>4,706</b>	8	△2,839	<b>1,255</b>	△3,451	△73.3%

1月22日発表

## 「新会社設立と映像制作サービス事業の構造改革、グループ事業再編の実施」

グループの成長と収益力向上を目的として、新たに子会社2社

- ① 株式会社 IMAGICA エンタテインメント メディアサービス
- ② 株式会社 IMAGICA Lab.

を設立し、映像制作サービス事業の構造改革とグループ事業再編を決定

詳細は次頁以降を参照

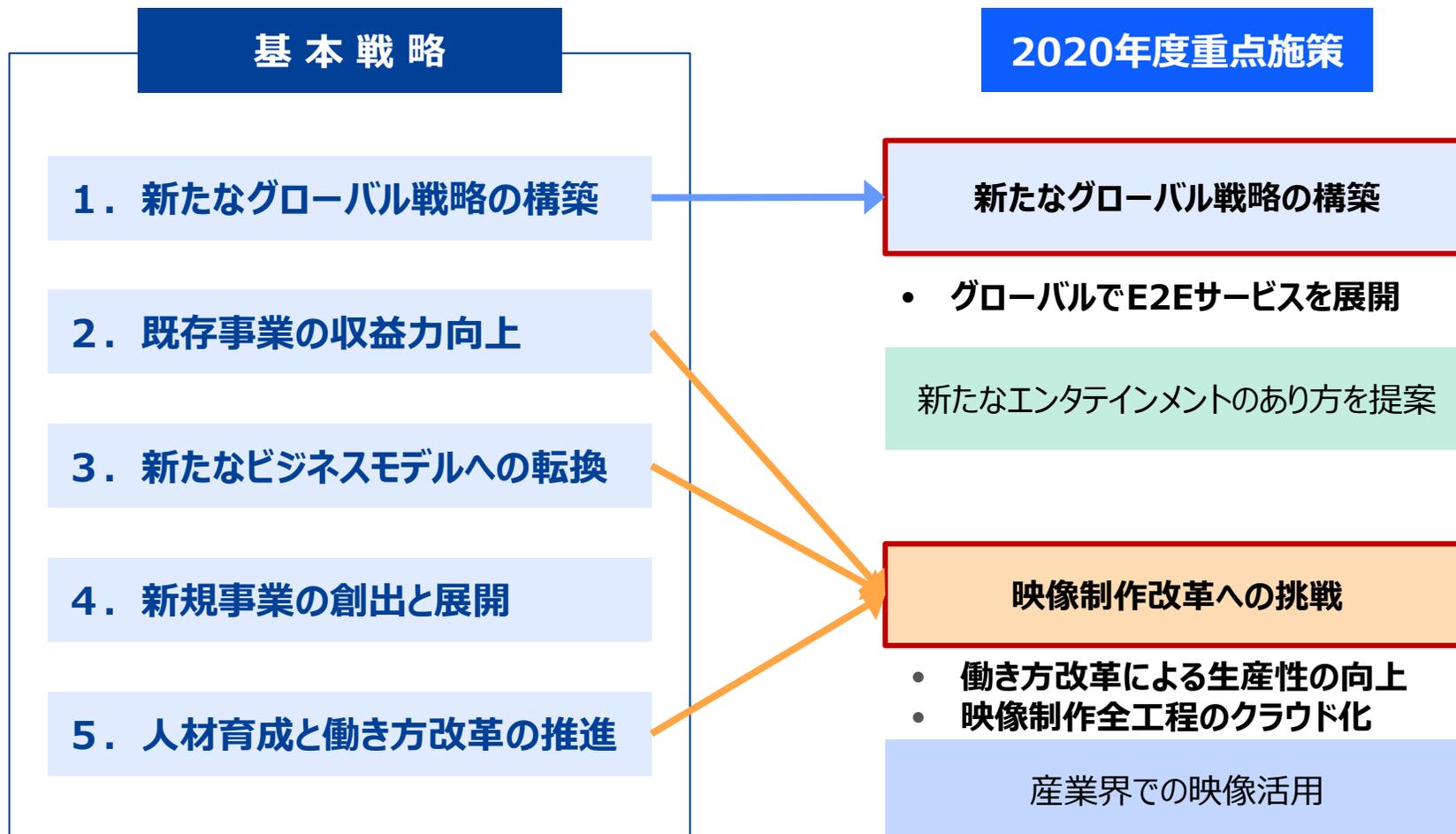
# 新会社設立と映像制作サービス事業の構造改革、 グループ事業再編に関する補足資料

2021年1月22日



# 中期経営戦略における位置づけ

中期経営戦略「総合力2021」の実現に向け、映像制作サービス事業の構造改革とグループ再編によりグローバル戦略の構築と映像制作改革を推進



# 具体的実施内容

## 新たなグローバル戦略の構築

1

IMAGICA Lab.のエンタテインメント事業を分離独立  
Pixelologicと連携強化し、**グローバルE2Eサービスの展開を拡大**  
**グループの成長を牽引し高収益体質を目指す**

2

IMAGICA Lab.のTV/CMポスプロ事業を分離独立  
クラウド化やリモート制作等による新しいビジネスモデルへ変革し、  
**強固な収益体質を構築し生まれ変わる**

3

グループ事業会社のコア事業を明確化  
IMAGICA Lab.の撮影事業、映像制作事業、ゲーム関連事業を  
**グループとして再編/集約し、事業の最適化と最大化を図る**

4

グループ全体の技術開発部門をフォトロンに設置  
IMAGICA Lab.とIDSの技術人材をフォトロンへ統合  
**グループとして映像制作改革を加速させる**

## 映像制作改革への挑戦

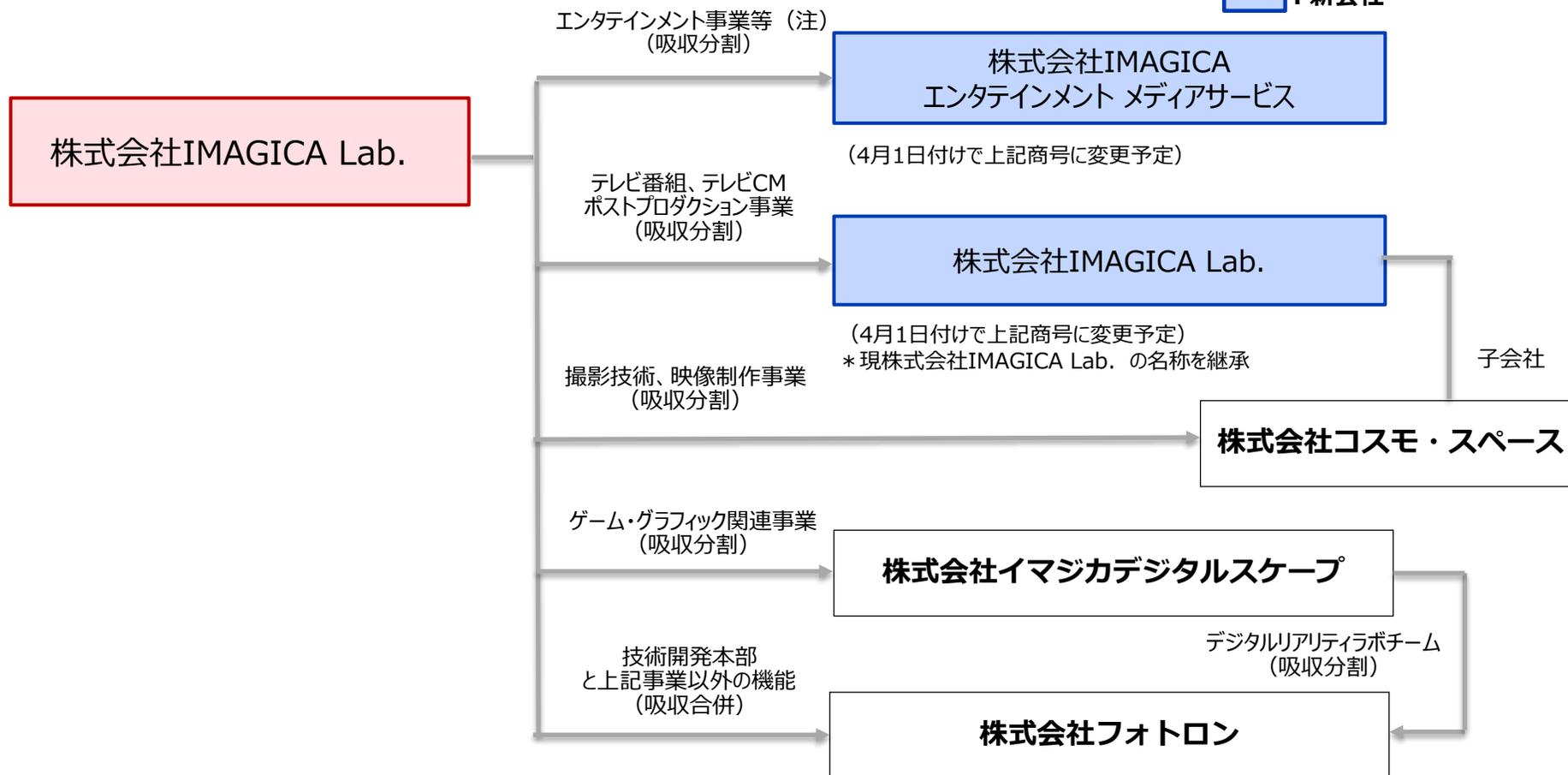
# グループ事業再編全体図

【現状】

【再編後】

2021年4月1日以降

: 新会社



(注) エンタテインメント事業等：映画・ドラマ・アニメ等の映像コンテンツ制作及び流通関連技術サービス（配給・配信・パッケージ・ローカライズ等）、ならびにフィルム関連サービス事業

# Appendix.

# 連結損益計算書

(単位：百万円)	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期		
	実績	実績	前年増減額	前年増減比
売上高	67,405	58,670	△ 8,735	△13.0%
売上総利益	16,919	12,932	△ 3,987	△23.6%
(売上総利益率)	25.1%	22.0%		
営業利益/損失	357	△ 2,369	△ 2,727	—
(営業利益率)	0.5%	—		
経常損失	△ 310	△ 2,729	△ 2,418	—
(経常利益率)	—	—		
特別利益	1,688	2,216	528	31.3%
特別損失	59	154	94	158.3%
税金等調整前当期純利益/損失	1,317	△ 667	△ 1,985	—
親会社株主に帰属する当期純利益/損失	815	△ 663	△ 1,478	—
EBITDA (参考)	2,848	8	△ 2,839	△99.7%

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

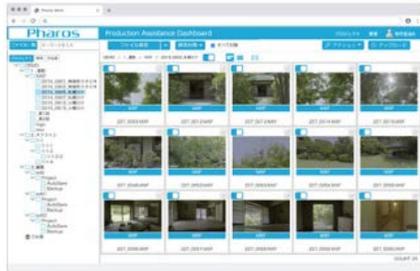
# 連結貸借対照表

(単位：百万円)		2020年3月期末	2021年3月期 第3四半期末	前期比	主な増減要因
資産の部	流動資産	35,295	35,070	△ 224	現金預金 +302 受取手形及び売掛金 △977
	うち現預金	7,339	7,641	302	たな卸資産 △768 その他 +1,265
	固定資産	26,859	36,317	9,457	投資有価証券 +372 関係会社株式 △1,624
	うちのれん	3,167	15,480	12,312	繰延税金資産 △2
資産合計		62,154	71,387	9,232	
負債・純資産の部	流動負債	25,762	32,347	6,584	支払手形及び買掛金 △1,116 短期借入金 +8,998
	うち短期借入金	5,004	14,002	8,998	未払法人税等 △1,365 前受金 △501
	固定負債	8,913	14,394	5,480	長期借入金 +4,767
	うち長期借入金	5,510	10,278	4,767	
	負債合計	34,676	46,741	12,065	
	株主資本	25,428	22,352	△ 3,075	(参考) 自己資本
	その他包括利益累計額	△ 361	△ 252	108	2020年3月期末 25,066 (40.3%)
	新株予約権	11	11	—	2021年3月期3Q 22,099 (31.0%)
	非支配株主持分	2,400	2,534	134	
	純資産合計	27,478	24,645	△ 2,832	
負債純資産合計	62,154	71,387	9,232		
ネット資金		△ 3,175	△ 16,638	△ 13,463	(現預金－長短期借入金)

# 2020年10月～ 主なグループTOPICS

2020/10/29  
フォトロン

映像制作・管理・流通のクラウド活用をアシストするワークフロー支援サービス「Pharos (ファロス)」を開始



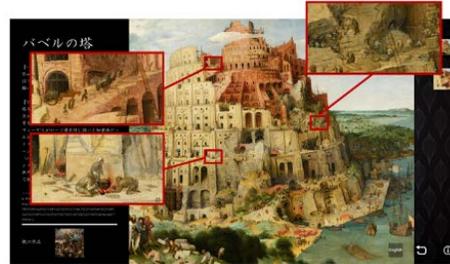
2020/10/30  
G各社連携

ウェザーマップ、オー・エル・エム・デジタル、ロボット、新しい映像体験型お天気ワークショップ「Weather Wizard Academy」を開催



2020/11/06  
イマジカデジタルスケープ

超高精細画像をインタラクティブに高速表示が可能なビューア、Infinite Pixel Viewer-Remote を発売開始



2020/11/16  
フォトロン

フォトロンが株式会社フォトニッククラティスの株式取得（当社の孫会社化）。センシング領域への更なる事業拡大、新市場開拓を目指す。

## Photron

2020/11/17  
IMAGICA EEX、P.I.C.S

初の完全オンライン開催 「東京国際プロジェクションマッピングアワード Vol.5」のべ約21万人が視聴！



2020/11/20  
IMAGICA EEX

『ディノアライブの恐竜たち展』内で超高精細な恐竜映像コンテンツを提供！



2020/11～12  
フォトロン

リモートワーク支援ツール「Photron Remote Access Gateway」を販売開始



2020/12/03  
IMAGICA GROUP、G各社連携

IMAGICA GROUPが文化庁「文化芸術収益力強化事業」を受託、ライブエンターテインメント業界のDXを推進。

その一環として、Live Exhibition “Storyteller” 「MY FIRST STORY」×「VISIONS」高臨場感ライブビューイングを実施 (12/25)

VISIONS  
SUPER LIVE VIEWING

EEX  
IMAGICA

×

ROBOT

IMAGICA  
GROUP

INFINICAM



120万画素 & 1,000 fpsで撮影、USBストリーミングハイスピードカメラ『INFINICAM UC-1』新発売。(←)

# 2020年7月～ 主なグループTOPICS

2020/7/3  
IMAGICA GROUP

新しいエンタテインメント体験を実現する事業会社、株式会社IMAGICA EEX（イマジカイクス）を設立！



2020/7/7  
IMAGICA EEX

リアル恐竜ライブショーをニューノーマル時代に対応した新しいエンタテインメント体験を提供



2020/7/7  
IMAGICA Lab.

オンライン試写サービス Framboise（フランボワーズ）を開発  
映画宣伝用マスコミ試写向けにサービスを開始



2020/7/10  
アイチップス・テクノロジー

2画面 4K2K入力対応IP変換・解像度変換・画像歪補正(Warping) LSI『IP00C814』を開発、サンプル出荷を開始（プロジェクター、モニター、ビデオプロセッサ向け）



2020/8/7  
IMAGICA GROUP

Pixelogic Holdings, LLC の追加株式取得（連結子会社化）



2020/9/6  
IMAGICA EEX/フォトロン

オンライン配信ファッションショーをXR映像で演出  
アリーナ規模では日本初！248万人が視聴



2020/9/17  
IMAGICA EEX/IMAGICA Lab.

観客参加型・360度を囲う巨大LEDビジョンによる、オンラインライブ配信ならではのプレミアムなステージ体験を提供



2020/10/1  
主婦の友インフォス

女性ファッション誌『S Cawaii!』（エスカワイイ）を株式会社主婦の友社より事業譲渡



# 2020年4月～ 主なグループTOPICS

2020/4/1  
IMAGICA GROUP

IMAGICA GROUPが「NTTドコモ新体感ライブCONNECTスペシャルイベント」高臨場感ライブビューイングに参画



2020/5/11  
ウェザーマップ

ウェザーマップ、赤城乳業株式会社と、氷菓「ガリガリ君」のお天気サイト「ガリ天 2020」をオープン



2020/5/29  
IMAGICA Lab.

IMAGICA Lab.が 第24回JPPA AWARDS 2020 映像技術部門グランプリほか各賞を受賞



2020/6/1  
イマジカデジタルスケープ

イマジカデジタルスケープが株式会社湘南ハイテク企画の株式取得（当社の孫会社化）、IT分野での更なる強化と事業拡大を目指す



2020/6/10  
アイチップス・テクノロジー

アイチップス・テクノロジー、【4K60Hz対応】4K 画像歪補正(Warping)/エッジブレンディングLSI『IP00C382』を開発、サンプル出荷を開始



2020/4～6  
フォトロン

フォトロン、ハイエンド・コンパクト高速カメラ『FASTCAM Nova S16』新発売



超高解像度・コンパクト高速カメラ『FASTCAM Nova R2』新発売



2020/4～6  
ROBOT

ROBOTが外出自粛応援ムービーを製作。第1弾「きょうのできごと a day in the home」、第2弾「いまだっただけ言える気がする」4/24から6/4までyoutubeで無料配信を実施。現在はHuluにて配信中！



2020/7/1  
イマジカデジタルスケープ

大阪に新拠点開設 3DCG制作人材の育成と事業拡大を目指す



# 事業セグメント別 連結子会社一覧

映像コンテンツ事業	映像制作サービス事業	映像システム事業
ロボット	IMAGICA Lab.	フォトロン
ピクス	イマジカ・ライヴ	フォトロン M&E ソリューションズ
オー・エル・エム	コスモ・スペース	PHOTRON USA
オー・エル・エム・デジタル	IMAGICA SDI Studio	PHOTRON EUROPE
オー・エル・エム ベンチャーズ	SDI Media Group	アイチップス・テクノロジー
Sprite Animation Studios	PPC Creative Limited イマジカデジタルスケープ イマジカアロベイス 湘南ハイテク企画 ウェザーマップ キャスター・プロ ※4Q~ Pixelogic Holdings,LLC追加	IPモーシオン

# お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP グループ経営管理部

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル11階

T E L : 03-6741-5742      F A X : 03-6741-5752

Email : [ir@imagicagroup.co.jp](mailto:ir@imagicagroup.co.jp)

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

## 【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。